

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	本庁舎等維持管理費（角館）				
担 当 課 係 名	角館総合窓口 課		総務 係	作成者	林崎文男
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	計画達成のために			総合計画の ページ
	基本計画	行政運営の効率化			
	主要施策	行政改革の推進 民間委託、民営化の推進			106
予 算 費 目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	5 目	財産管理費
事 業 期 間	平成 20 年度 ~ 平成 20 年度		新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市庁舎管理規則 ほか				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市民への行政サービスを提供するための施設
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	市民、職員が安全かつ快適に利用ができ、市民に安定した行政サービスの提供を行う
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	庁舎の維持管理のための修繕や警備及び保守点検

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	庁舎面積 （角館・西側・中町庁舎計）	目標	m ²	2,517.70	2,517.70	2,517.70	
			実績	m ²	2,517.70	2,517.70	2,517.70	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	（光熱費＋燃料費）／職員数 目標：予算ベース 実績：決算ベース	目標	円	64,584.27	62,494.38	61,685.39	
			実績	円	63,280.17	62,249.67	55,633.67	
			達成度	%	98.0%	99.6%	90.2%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				13,255	16,506	11,183	
	人 件 費 (B)		—		7,853	8,071	7,925	
	職 員 数		—		1.00	1.00	1.00	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				21,108	24,577	19,108	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				21,108	24,577	19,108
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		8,384	9,762	7,589	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		662	782	616	

【事務事業の今までの成果】

角館庁舎、西側庁舎、中町庁舎施設の維持管理のための修繕、保守点検及び清掃作業
--

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	公共事業等の削減、公的機関の民間委託などにより国家公務員、地方公務員の削減が各マスコミ等で報じられている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	委託や指定管理者制度の移行により行政コスト削減に努めている事は評価するが、コスト削減により行政サービス低下してはならない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
B 1	A 現状のまま継続（実施）	庁舎の老朽化が著しいため市民、職員に安全に利用してもらうため随時必要に応じ対処する
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）
予算等の問題があるため大幅な改善策ができないが、市民、職員の要望、意見を素早く取り入れ対応する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	施設の老朽化が進む中で、安全対策及び所要のメンテナンスは確実に実施する必要があることから、効率的かつ計画的に事業を実施すべく、一層の工夫が求められます。

